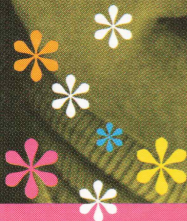




1967→2002
LOVE解禁



私は好奇心の強い女

I am curious : yellow

Staff ● Producer: Göran Lindgren ● Writer/Director: Vilgot Sjöman ● Director of Photography: Peter Wester ● Music Composer: Bengt Ernyrd ● Sandrew Film & Teater AB
Cast ● Lena Nyman ● Vilgot Sjöman ● Barje Ahlstedt ● Peter Lindgren ● Chris Wahlström ● Marie Göransson ● Magnus Nilsson ● Ulrika Lyttkens
1967年 / スウェーデン / 122分 / カラー / モノラル 配給: 日活 <http://www.kohkishi.com>

私は好奇心の強い女



I am curious:yellow

"Make Love, Not war" (愛しあおう、戦うのはやめて)

最後の伝説がやってくる!!

60年代ゴダールのポップ/アヴァンギャルドな作風。カリフォルニアのビーチとNY郊外のウッドストックで頂点をむかえるラブ&ピースなフリーセックス思想。書を捨てよ町へ出ようを実践するニュー・ジャーナリズムのストリート精神。ウーマン・リブからガーリー・カルチャーへ至る女性の文化的パワー。

すっかりおなじみ、重要な潮流たち。そしてなんと、これらの水が、67年のスウェーデンにおいてひとつの映画に全部注ぎこまれていた!いや、驚いてはいけない、ほんとうの衝撃とは、いつも意外な場所から現われるものなのだから。

その作品の名は「I am curious:yellow」・・・『私は好奇心の強い女』。

私は『私は好奇心の強い女』を

全面的に支持することを表明する。

*寺山 修二 (詩人・劇作家)

71年公開当時より

2002年“好奇心の強い女”からのメッセージ (順不同)

- 私は見ます。何か思うとき、どこにも壁がないこの映画は、あらゆる面でヒントになると思うので。

空気公団 山崎 ゆかりさん (アーティスト)

- シェーマン監督の“大人の視点”。これが当時の“若者”のリアル? レナの“だらしない”カラダで着こなすキュートなファッションが印象的!

Cymbals 土岐 麻子さん (ミュージシャン) *

- 『私は好奇心の強い女』・・・なんと素晴らしいタイトルだろう。これと川島雄三監督の『女は二度生まれる』が、「女」がつく映画のタイトルベスト2だと思っている。

篠崎 真紀さん (ライター) *

- 女の子なら誰だって、レナの奔放さを持っている。(人生のことって、よくわからないけど)恋したい!愛されたい。楽しみたい、おシャレしたい!それって欲張り? んー。しあわせを肌で感じてただけなのよ。

柳 博子さん (映画ライター・元VIEWER編集長)

2002年春 解禁ロードショー!!

シネ・リーブル梅田
06-6440-5930

京都朝日シネマ
075-255-6760

シネ・リーブル神戸
078-334-2126